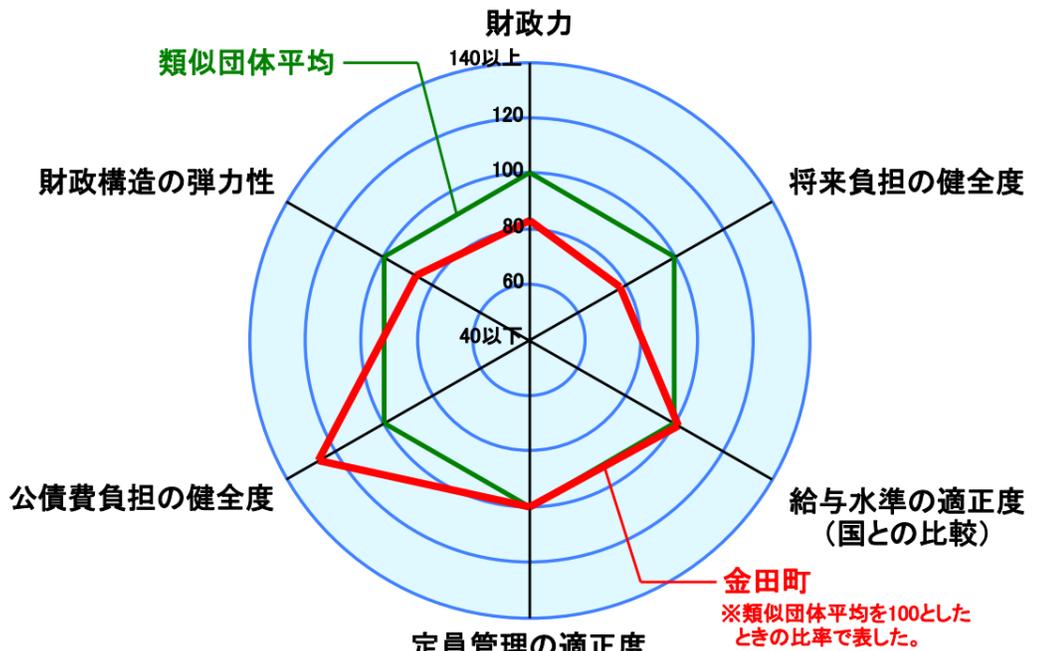


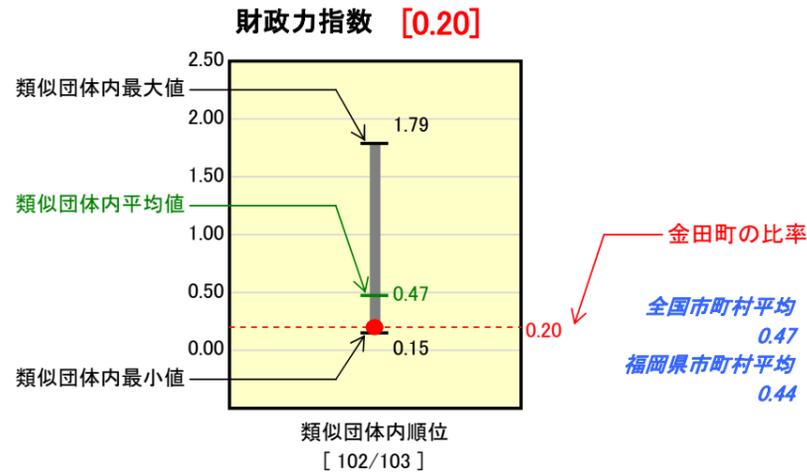
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 金田町

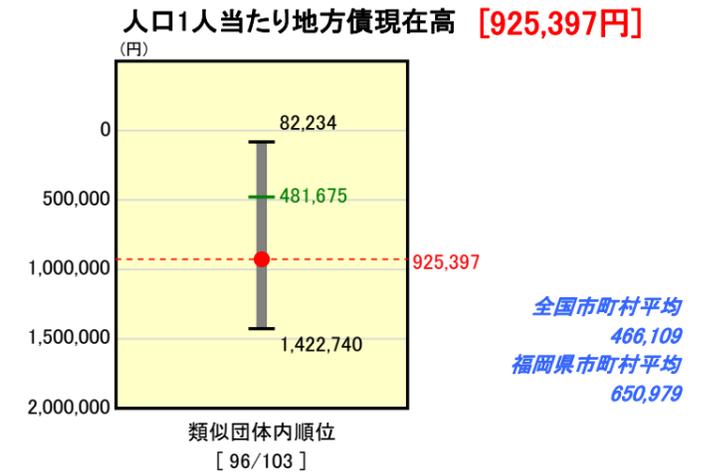
人口	8,473 人(H17.3.31現在)
面積	7.46 km ²
歳入総額	6,308,123 千円
歳出総額	6,019,710 千円
実質収支	242,275 千円



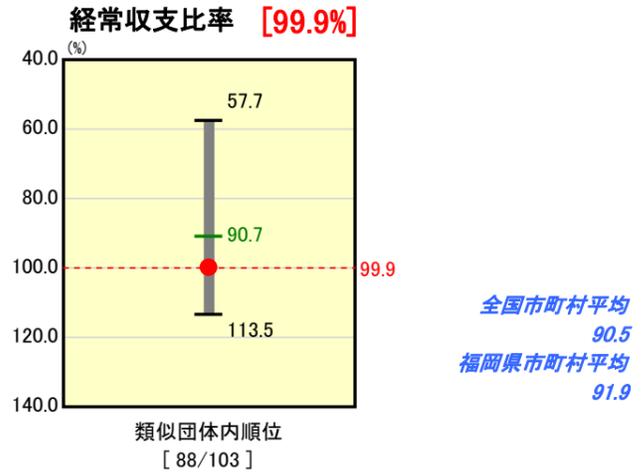
財政力



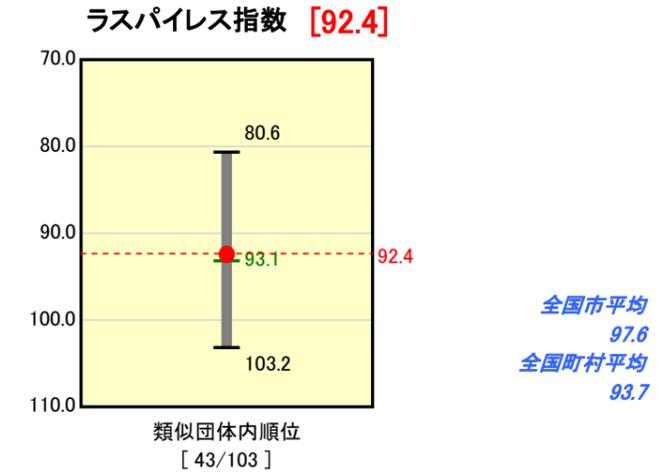
将来負担の健全度



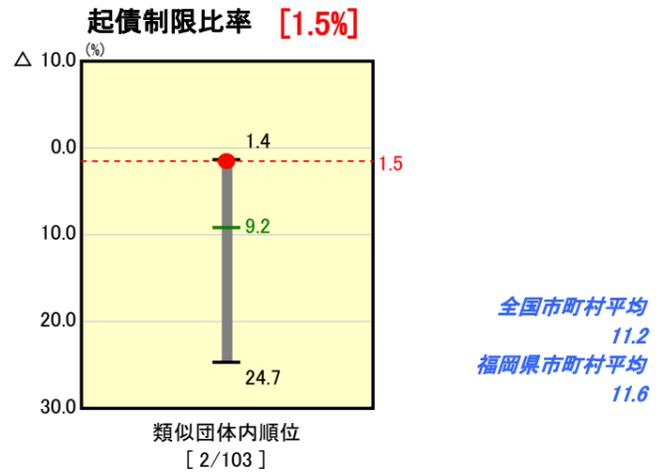
財政構造の弾力性



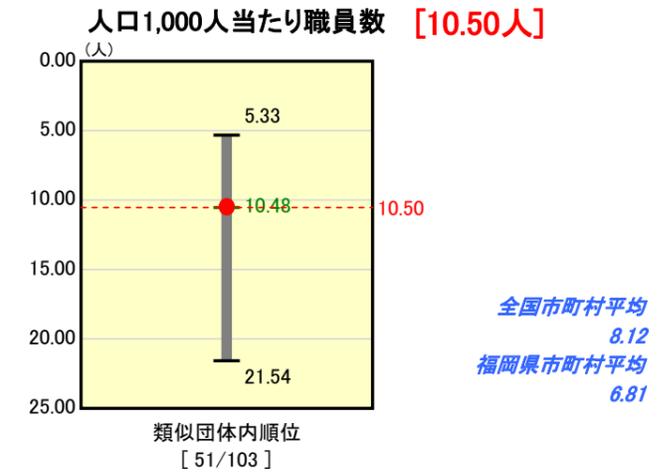
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

○財政力指数
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(18年1月末21.62%)に加え、町内に中心となる産業がないこと等により財政基盤が弱く、0.20と類似団体平均を下回っている。平成18年3月6日合併により福智町となり、合併による財政基盤の強化が図られ、今後とも福智町として歳出削減、定員管理、地方税の徴収強化等の取組みを通じて財政基盤の強化に努める。

○経常収支比率
平成11年度をピークに平成12年度以降減少を続けている地方交付税の減少や、臨時財政対策債の1億円規模の大幅な減額と同時に、全般的な歳出の抑制にまして介護保険負担金の増や町立保育所の国庫補助金廃止による経常的な一般財源が増加した等により類似団体平均を9.2上回っている。今後、合併により新団体での効率的かつ計画的な行財政運営の実施を図る。

○ラスパイレス指数: 昭和56年度から62年度までの再建団体時に定期昇給を行わない等により類似団体平均を0.7下回っている。今後、合併により新団体となり、給与の見直しにより類似団体並みの指数となることが予想される。

○起債制限比率
過去の起債事業において、普通交付税の事業費補正により算入される事業が多い等、類似団体平均を7.7と大きく下回っている。今後、合併後の新団体での起債事業については、事業の抑制や交付税算入率等を十分考慮して健全な起債計画を行う。

○人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均を443,722上回っている。主な要因としては、平成10年度から平成14年度にかけて実施した地域総合整備事業(総事業費24億円、起債14億円)等であるが、今後、合併により新団体での新規地方債の発行の抑制に努める。

○ラスパイレス指数
昭和56年度から62年度までの再建団体時に定期昇給を行わない等により類似団体平均を2.6下回っている。今後、合併により新団体となり、給与の見直しにより類似団体並みの指数となることが予想される。

○人口1,000人当たり職員数
類似団体の平均数値とほぼ同じ数値となっている。今後、合併に伴い職員の減が見込まれる。